

宣言 革 命

資本主義は正に崩壊の前途に當面した。世界各國の排他的國家主義經濟對立は益々激化し、従來の國際主義的經濟政策は一顧も其へ顧みられなくなった。世界列國は競つてインフレーション政策を履行し、物價を吊り上げ、國產品の使用を強制し、最要の労働條件を上げて生産費を切り下り、關税を高壁を設け輸入を制限して、自國市場の擁護と國際市場の獲得に依る。國內資本主義の運命に必死の苦悶と焦慮を續けてゐる。かゝる世界列國の排他的國家主義經濟政策は、對しては國際市場の競争を中心とした戰爭の危機を急迫せしめ、對しては労働條件を壓迫し、劣悪化し、彼ら労働階級の犠牲のみを強制する。

吾等資本主義、死物狂の苦悶の中に、彼ら日本資本主義はインフレーション政策を田價を若くは、軍需工業と輸送産業を中心とし、生氣を回復したかに見え、日本、インフレーションの主体をなすものは所謂一九三五年國際危機を目標とする一時的軍人造景氣である。明年のロンドン海軍縮小會議の交渉を以て、この景氣は必然に消滅する運命を持つものにて、明年末か、明後年始めには軍需インフレーションの終結から國內産業は萎縮衰頹し、深刻なる不況の大嵐が吹く。その被害は眞光と労働階級の生活に根柢から破壊する。

九州聯合会はこの不況大嵐に備へて全力的に戦つてはせらぬ。労働階級の危機は國際的でも、國內的でも急迫して来た。我等はこの危機を打開し、軍需インフレーションの行詰りに依る國內産業の萎縮不況の危機を克服して労働階級の生活権を確立せねばならぬ。九州聯合会九州戦線に健闘する労働組合主義を大旗と掬ひ、ついで、茲に六年、極右の無責任なる思想的運動を徹底的に克服して九州の全戦線より退却せしめ、國家産業を健全なる再建設発展協力労働階級の生活を解放する實力を現実の上に出して示して来た。我等は健全なる労働組合主義の立場から、國家産業の健全なる維持発展平和の協力すると共に、分配の公平を期し、斷じて資本の不当なる搾取を許さぬ。頑迷無理解して労働階級を飽まで奴隷視する資本家に対しては健全なる國家産業の発展を阻害するものとして斷乎闘争するを許さざるものではない。

九州聯合会は日本労働組合會議第七回年次大会に決定せらるる、産業及労働を統制する國策を實現する基準とするに全力を尽し、先ず何れも以て産業協力の誠と致し、福國庶下の産業を健全に維持発展せしめ、労働階級の生活権確立を固く、縣下の産業を労働を統制する機關の設置を促進し、以て全國的運動の一翼を積極的に參加する。九州聯合会加盟組合には、その合理的行政経営並に平和的建設的職責の拡充に主力を要し、社會的信任の増大を固り、以て薄營を整備強化し、健全なる労働組合主義運動に對する社會的信賴と理解を通じて未組織労働者を獲得する方針に沿つて組織運動を強力に展開する。更に九州聯合会は日本労働組合九州地方協議会が主力となり、加盟団体と協力協心、九州の全戦線に健全なる労働組合主義を徹底せしめ、以て國家産業を健全に発展維持し、労働階級生活の徹底的解放を闘争の先頭として萬往邁進する。茲に第七回年次大会に當りて、我等の方針を宣言する。

昭和九年十月二十一日

日本労働總同盟九州聯合會

第七回年次大會